

## 栗原地域アンケート結果(速報)

調査目的	人口減少と高齢化が進む栗原地域において、地域コミュニティの維持の課題解決に向けて、地区計画などを想定した持続可能なまちづくりの取り組みを地域とともに進めていくための基礎資料として実施。
調査方法	自治会を通じた配布と回収 令和4年7月配布(7月広報配付日) 8月22日回収
回収状況	配布数 310   ・回収数 219 / 有効回収数 217 ・回収率 70.6% / 有効回収率 70.0% (令和4年8月31日現在)

### 結果概要

#### 1 回答者属性

・栗原地域の回答者は「50～70歳代」の「会社員」「無職」、「男性」が中心であり、世帯としては「2世帯同居」と「夫婦のみ」で69.5%を占めている。住まいは「持ち家」が97.2%となる。

#### 2 定住意向

・定住意向は、76.0%が「住み続けたい」としており、地域からの「転居・転出」は9.7%となった。

住み続けたい理由は地域への「愛着」「家を継ぐ」「生まれた所」「自然が豊か」が主な理由となる。

一方、転居・転出理由は「買い物が不便」「地域での付き合いがわずらわしい」があげられた。

・同居家族の定住意向は、「住み続けたい」45.7%、「転居・転出」が14.5%、非同居家族では、「地域内に戻りたい」7.4%、「戻りたくない」16.7%となった。

#### 3 現在の住まいの状況など

・生活上の問題点では、「小学校の児童数減」「高齢者単独世帯増加」「移動が不便」「地域活動のわずらわしさ」の面で問題を感じている。

・新たな用地確保による「住宅地・工場・店舗」の整備については71.4%が「よいと思う」としている。「望ましくない」とするのは11.1%であった。

・現在の住宅以外の土地所有では、「宅地」所有が15.7%、「農地」所有が52.5%、両方が12.4%であった。今後の意向では、「宅地」を「手放したい」52.9%、「手放したくない」41.2%、「農地」では「手放したい」66.7%、「手放したくない」32.5%となった。

・地域内に転入する場合の条件としては、「地域活動・行事に参加」47.5%が最も多く、次いで「特に条件はない」46.1%とほぼ同数、「地域に魅力を感じる人」32.3%で続いている。

#### 4 現在及び今後のまちづくりに向けて

・今後のまちづくりに向けて、住み続けたいまちのために重視することでは、「安心安全」「身近で買い物できる店」「公共交通の確保」「コミュニティ維持」の4項目が30%を超えとなった。

・地域の魅力・誇り・愛着のために大事にしたいことでは、「小学校」38.7%を筆頭に、「山や川などの自然」「祭り・行事」「人・人材」などが主なものとしてあげられた。

・住み続けたいまちにしていくための活動については、「ぜひ参加したい」意向は6.5%で、「興味・関心のある事」「時間と機会」があればという条件付き参加意向が68.6%となった。

・最後に、アンケート回答にあたって、家族と相談し「意見が反映できた」方は57.6%であった。

## 1 回答者属性

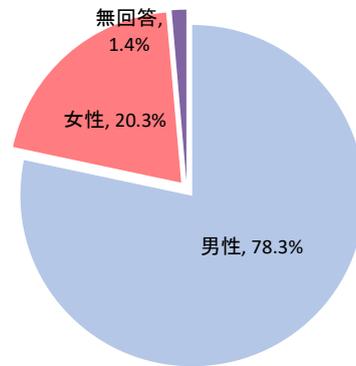
### ○回答者男女

回答者は78.3%が男性、女性は20.3%で、約8割が男性となった。

問1-1-1 性別

	実数	構成比
男性	170	78.3%
女性	44	20.3%
その他	0	0.0%
無回答	3	1.4%
計	217	100.0%

問1-1-1 性別 N=217



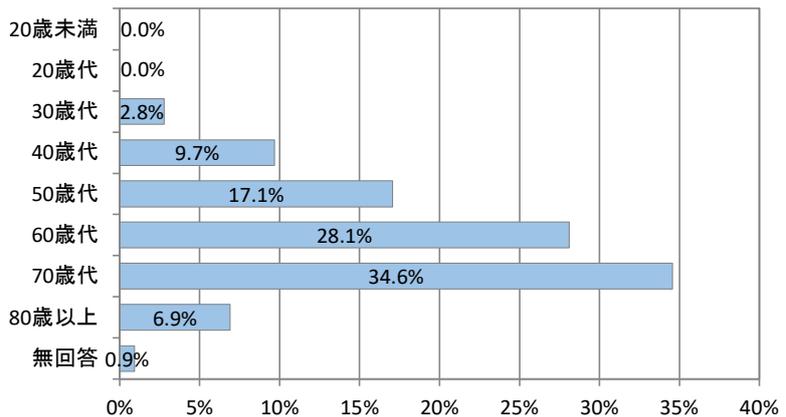
### ○年代

年代別では70歳代が34.6%で最も多く、次いで60歳代、50歳代となった。60~80歳代以上で69.6%、50歳代を含めると86.6%を占める。

問1-1-2 年代

	実数	構成比
20歳未満	0	0.0%
20歳代	0	0.0%
30歳代	6	2.8%
40歳代	21	9.7%
50歳代	37	17.1%
60歳代	61	28.1%
70歳代	75	34.6%
80歳以上	15	6.9%
無回答	2	0.9%
計	217	100.0%

問1-1-2 年代 N=217



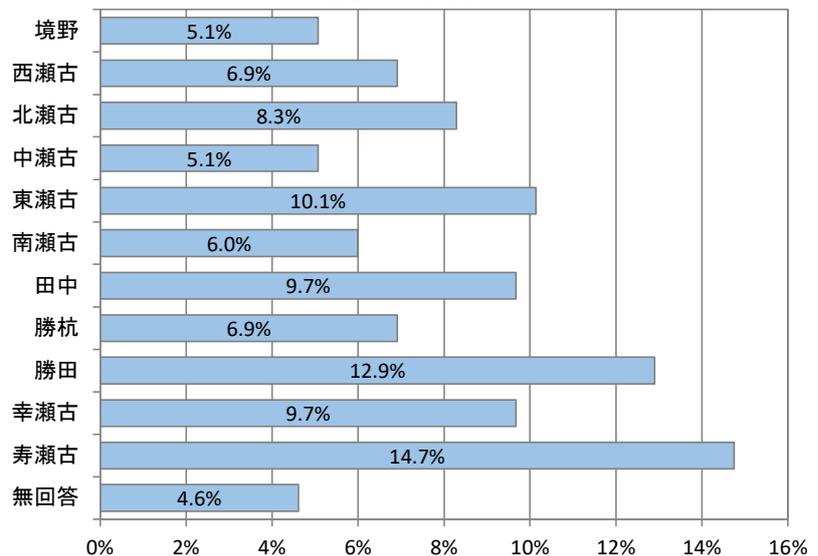
### ○自治会

自治会で別では、寿瀬古、勝田、東瀬古の順に多くなった。

問1-2 住まいの自治会

	実数	構成比
境野	11	5.1%
西瀬古	15	6.9%
北瀬古	18	8.3%
中瀬古	11	5.1%
東瀬古	22	10.1%
南瀬古	13	6.0%
田中	21	9.7%
勝杭	15	6.9%
勝田	28	12.9%
幸瀬古	21	9.7%
寿瀬古	32	14.7%
無回答	10	4.6%
計	217	100.0%

問1-2 住まいの自治会 N=217



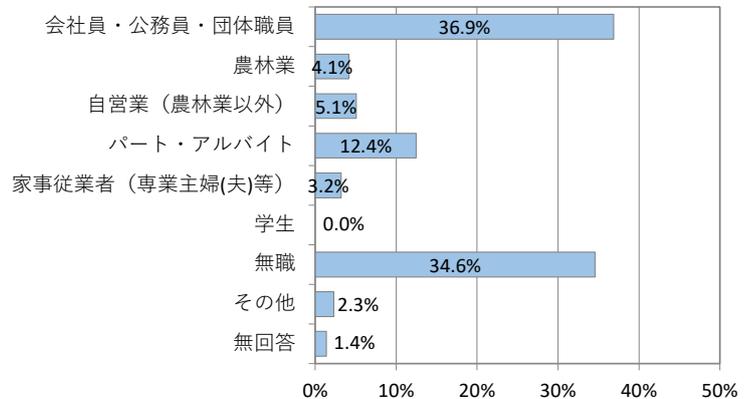
## ○職業

回答者の職業では、「会社員・公務員・団体職員」36.9%、「無職」34.6%が主なものとなった。比較的現役世代が多くみられる。

問 1-3 職業

	実数	構成比
会社員・公務員・団体職員	80	36.9%
農林業	9	4.1%
自営業（農林業以外）	11	5.1%
パート・アルバイト	27	12.4%
家事従業者（専業主婦(夫)等）	7	3.2%
学生	0	0.0%
無職	75	34.6%
その他	5	2.3%
無回答	3	1.4%
計	217	100.0%

問 1-3 職業 N=217



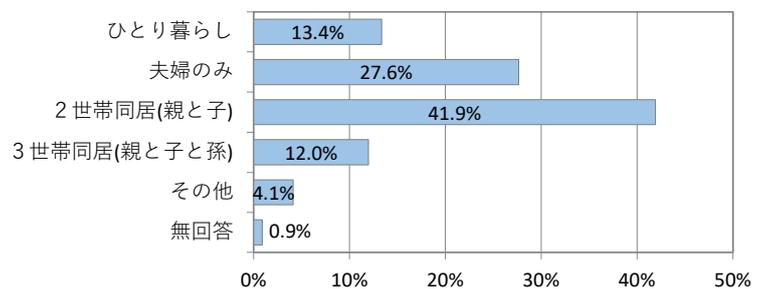
## ○世帯構成

世帯構成については、「2世帯同居」41.9%、「夫婦のみ」27.6%が主なものとなっている。

問 1-4-1 世帯構成

	実数	構成比
ひとり暮らし	29	13.4%
夫婦のみ	60	27.6%
2世帯同居(親と子)	91	41.9%
3世帯同居(親と子と孫)	26	12.0%
その他	9	4.1%
無回答	2	0.9%
計	217	100.0%

問 1-4-1 世帯構成 N=217



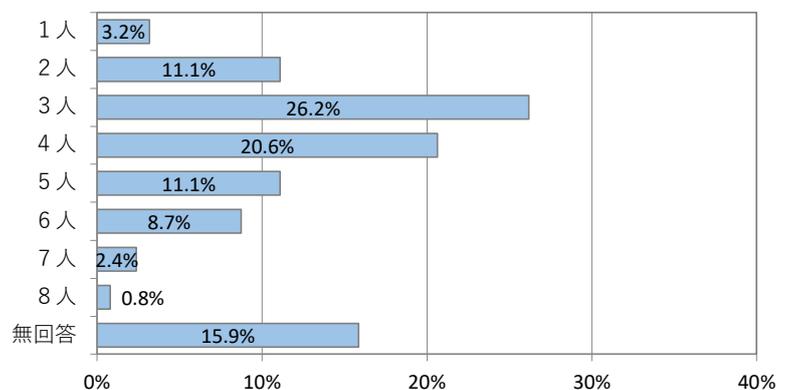
## ○同居人数

一人暮らし、夫婦のみ以外の多世帯の同居人数としては、3人が最も多く、平均では3.17人となった。

問 1-4-2 同居人数

	実数	構成比
1人	4	3.2%
2人	14	11.1%
3人	33	26.2%
4人	26	20.6%
5人	14	11.1%
6人	11	8.7%
7人	3	2.4%
8人	1	0.8%
無回答	20	15.9%
計	126	100.0%

問 1-4-2 同居人員 N=126



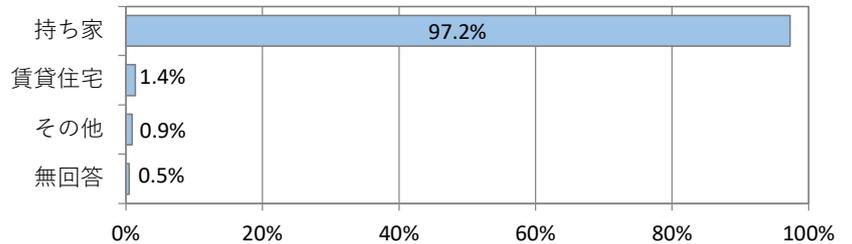
## ○住まいの所有形態

住まいの所有形態は、「持ち家」が97.2%とほとんどを占めた。

問1-5 住まいの所有形態

	実数	構成比
持ち家	211	97.2%
賃貸住宅	3	1.4%
その他	2	0.9%
無回答	1	0.5%
計	217	100.0%

問1-5 住まいの所有形態 N=217



## 2 地域への定住意向

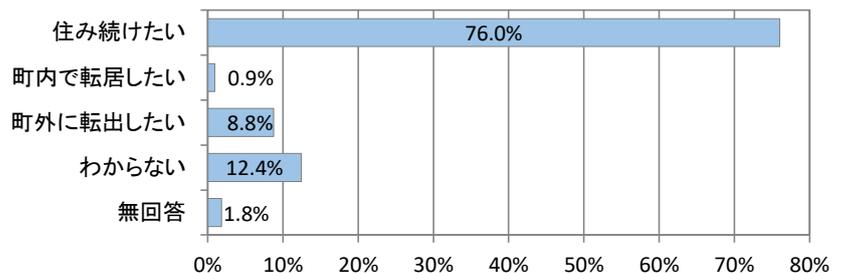
### ○今後の定住意向

今後の定住意向では、「住み続けたい」76.0%で、「転居したい」「転出したい」をあわせて9.7%となった。「転出・転居」の回答数は19となっている。

問2-1 今後の居住意向

	実数	構成比
住み続けたい	165	76.0%
町内で転居したい	2	0.9%
町外に転出したい	19	8.8%
わからない	27	12.4%
無回答	4	1.8%
計	217	100.0%

問2-1 今後の居住意向 N=217



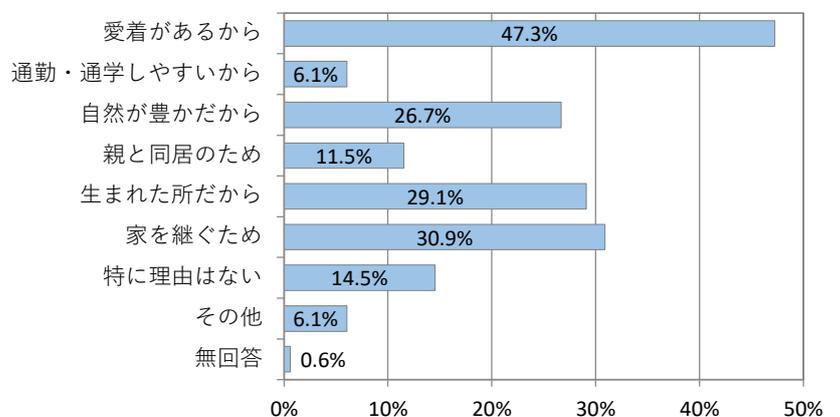
### ○「住み続けたい」理由

「住み続けたい」理由としては、「愛着がある」47.3%、「家を継ぐため」30.9%、「生まれた所だから」29.1%、「自然が豊かだから」26.7%となった。

問2-2-1 「住み続けたい」理由(複数回答)

	実数	構成比
愛着があるから	78	47.3%
通勤・通学しやすいから	10	6.1%
自然が豊かだから	44	26.7%
親と同居のため	19	11.5%
生まれた所だから	48	29.1%
家を継ぐため	51	30.9%
特に理由はない	24	14.5%
その他	10	6.1%
無回答	1	0.6%
計	165	100.0%

問2-2-1 「住み続けたい」理由(複数回答) N=165



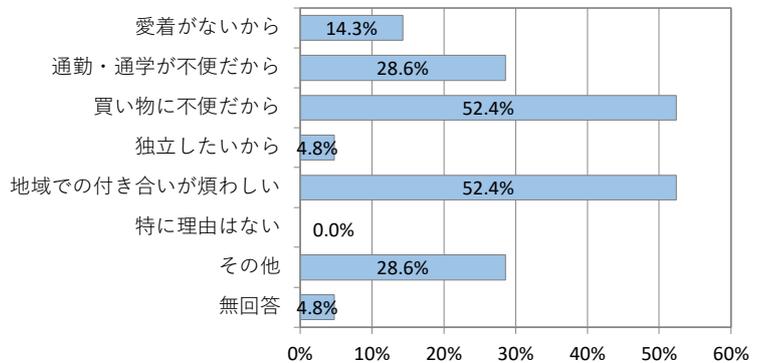
### ○「転居・転出したい」理由

「転出・転居したい」理由としては、「買い物に不便」、「地域での付き合いがわずらわしい」がともに52.4%で最大となった。

問2-2-2 「転居・転出したい」理由(複数回答)

	実数	構成比
愛着がないから	3	14.3%
通勤・通学が不便だから	6	28.6%
買い物に不便だから	11	52.4%
独立したいから	1	4.8%
地域での付き合いが煩わしい	11	52.4%
特に理由はない	0	0.0%
その他	6	28.6%
無回答	1	4.8%
計	21	100.0%

問2-2-2 「転居・転出したい」理由(複数回答) N=21



問2-2-2 「転居・転出したい」理由 その他

病院が近くにない、駅が遠い、公共交通機関がない、まちバスは朝・夜はない
高齢になったとき不安だから
離婚を考えているため
地域活動、行事が多い
中学、高校等

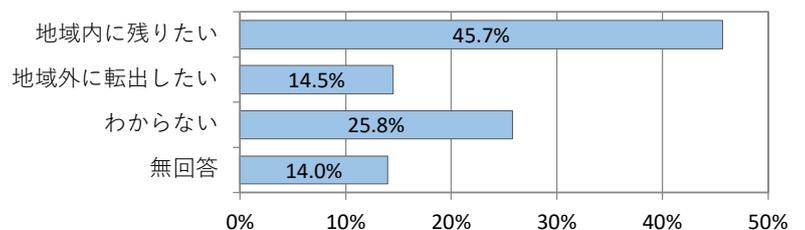
### ○同居する家族の定住意向

単身世帯を除く同居する家族の定住意向では、「地域に残りたい」45.7%、「転出したい」14.5%となり、一定転出希望がある。

問3-1 家族の定住意向「同居家族」

	実数	構成比
地域内に残りたい	85	45.7%
地域外に転出したい	27	14.5%
わからない	48	25.8%
無回答	26	14.0%
計	186	100.0%

問3-1 家族の定住意向「同居家族」 N=186



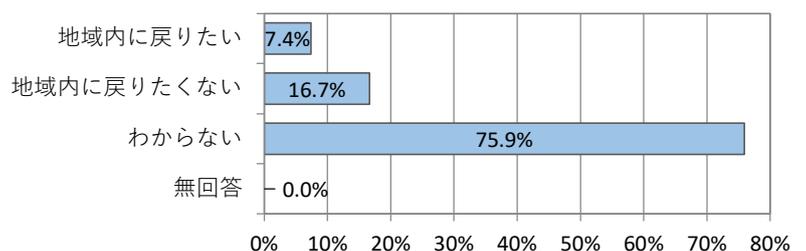
### ○非同居家族の定住意向

同居していない家族についての定住意向では、「地域内に戻りたくない」16.7%、「地域内に戻りたい」7.4%で戻りたい意向は必ずしも多くないが、75.9%が「わからない」と4分の3を占める。

問3-2 家族の定住意向「非同居家族」

	実数	構成比
地域内に戻りたい	4	7.4%
地域内に戻りたくない	9	16.7%
わからない	41	75.9%
無回答		0.0%
計	54	100.0%

問3-2 家族の定住意向「非同居家族」 N=54



### 3 現在の住まいの状況などについて

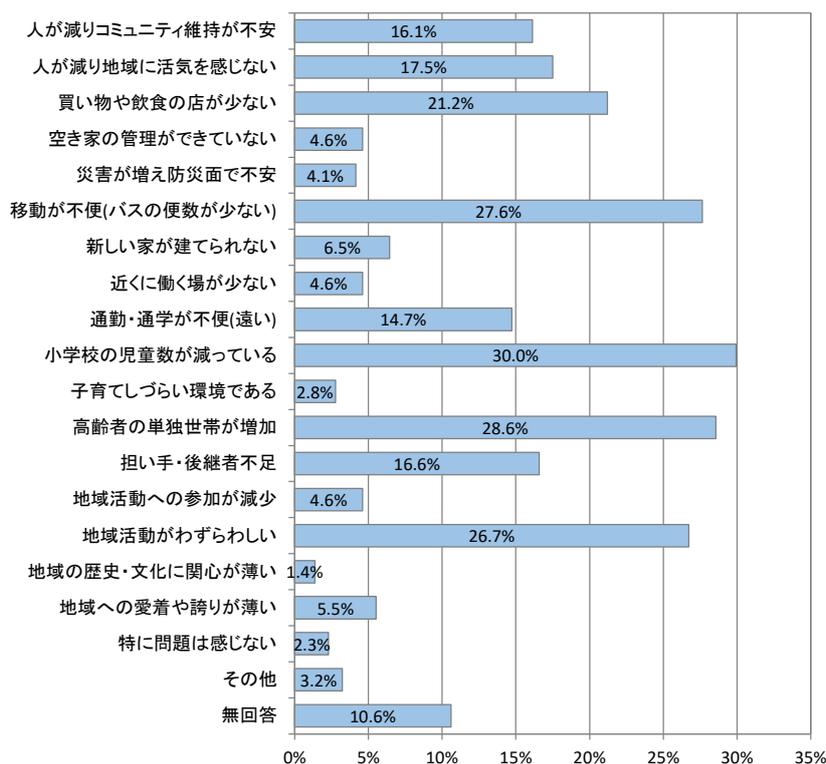
#### ○生活上の問題点

生活する上での問題点については、「小学校の児童数が減っている」30.0%、「高齢者の単独世帯の増加」28.6%、「移動が不便」27.6%、「地域活動がわずらわしい」26.7%、「買い物や飲食店がない」21.2%が 20%を超える主な意見となっている。次いで、「地域に活気を感じない」、「コミュニティ維持に不安」、「担い手、後継者不足」などの項目が続いている。

問4 生活上の問題点(複数回答)

	実数	構成比
人が減りコミュニティ維持が不安	35	16.1%
人が減り地域に活気を感じない	38	17.5%
買い物や飲食の店が少ない	46	21.2%
空き家の管理ができていない	10	4.6%
災害が増え防災面で不安	9	4.1%
移動が不便(バスの便数が少ない)	60	27.6%
新しい家が建てられない	14	6.5%
近くに働く場が少ない	10	4.6%
通勤・通学が不便(遠い)	32	14.7%
小学校の児童数が減っている	65	30.0%
子育てしづらい環境である	6	2.8%
高齢者の単独世帯が増加	62	28.6%
担い手・後継者不足	36	16.6%
地域活動への参加が減少	10	4.6%
地域活動がわずらわしい	58	26.7%
地域の歴史・文化に関心が薄い	3	1.4%
地域への愛着や誇りが薄い	12	5.5%
特に問題は感じない	5	2.3%
その他	7	3.2%
無回答	23	10.6%
計	217	100.0%

問4 生活する上での問題点(複数回答) N=217



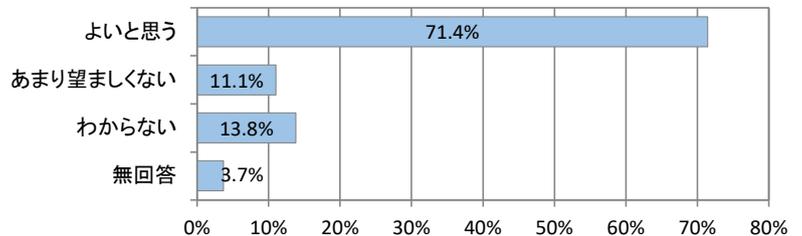
## ○新たな用地確保により住宅地や工場・店舗をつくること

新たな用地確保による住宅地、工場・店舗をつくることについては、「よいと思う」71.4%となり、「あまり望ましくない」と反対する意見は11.1%であった。

問5 新たな用地確保により住宅・工場・店舗をつくる

	実数	構成比
よいと思う	155	71.4%
あまり望ましくない	24	11.1%
わからない	30	13.8%
無回答	8	3.7%
計	217	100.0%

問5 新たに用地を確保して住宅地や工場や店舗をつくることについて N=217



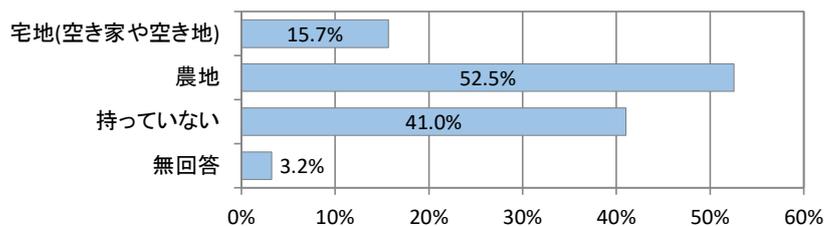
## ○地域内にお住いの住宅以外に土地(宅地や農地)をお持ちですか

土地については、「農地」を持つ方が52.5%、「宅地」を持つ方が15.7%となった。

問6-1 現住宅地以外に土地を持っているか(複数回答)

	実数	構成比
宅地(空き家や空き地)	34	15.7%
農地	114	52.5%
持っていない	89	41.0%
無回答	7	3.2%
計	217	100.0%

問6-1 地域内に現在の住宅地以外に土地を持っているか N=217



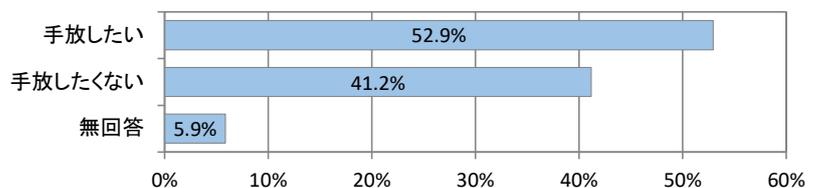
## ○「宅地」をお持ちの方の意向

「宅地」を持つ方の意向として、「手放したい」52.9%、「手放したくない」41.2%で、「手放したい」が過半となり、「手放したくない」を上回った。

問6-2-1 宅地を持っている方の意向

	実数	構成比
手放したい	18	52.9%
手放したくない	14	41.2%
無回答	2	5.9%
計	34	100.0%

問6-2-1 宅地(空き家や空き地)を持っている方の意向 N=34



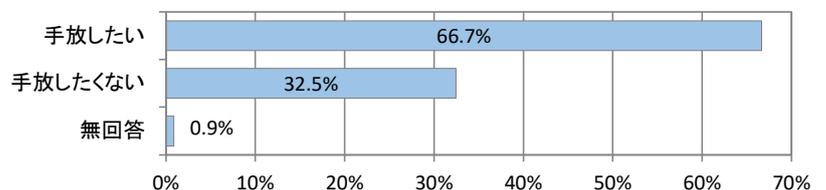
## ○「農地」をお持ちの方の意向

「農地」を持つ方の意向として、「手放したい」66.7%、「手放したくない」32.5%と、手放したい方が3分の2となっている(回答数76)。

問6-2-2 農地を持っている方の意向

	実数	構成比
手放したい	76	66.7%
手放したくない	37	32.5%
無回答	1	0.9%
計	114	100.0%

問6-2-2 農地を持っている方の意向 N=114



## ○地域内転入の条件

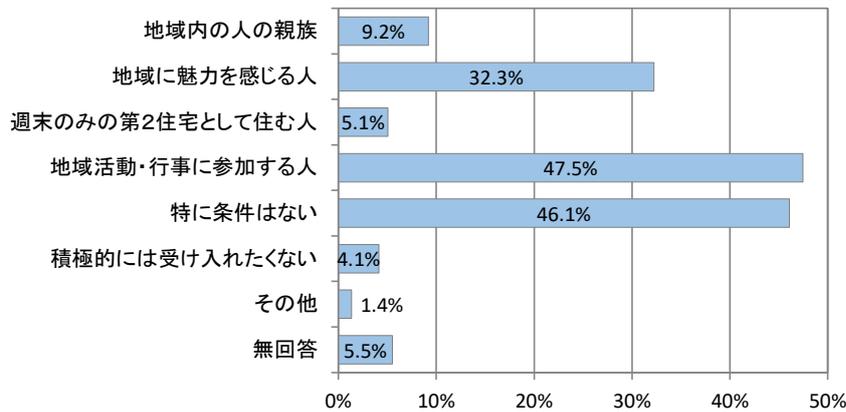
地域内への転入条件としては、「地域活動・行事に参加」47.5%が最も多く、次いで「特に条件はない」46.1%、「地域に魅力を感じる人」32.3%となった。比較的條件なしで受け入れの意向がみられる。

問7 地域内に転入の場合の条件（複数回答）

	実数	構成比
地域内の人の親族	20	9.2%
地域に魅力を感じる人	70	32.3%
週末のみの第2住宅として住む人	11	5.1%
地域活動・行事に参加する人	103	47.5%
特に条件はない	100	46.1%
積極的には受け入れたくない	9	4.1%
その他	3	1.4%
無回答	12	5.5%
計	217	100.0%

問7 地域内に転入したい人は、どんな条件を満たせばよいか（複数回答）

N=217



#### 4 現在及び今後のまちづくりに向けて

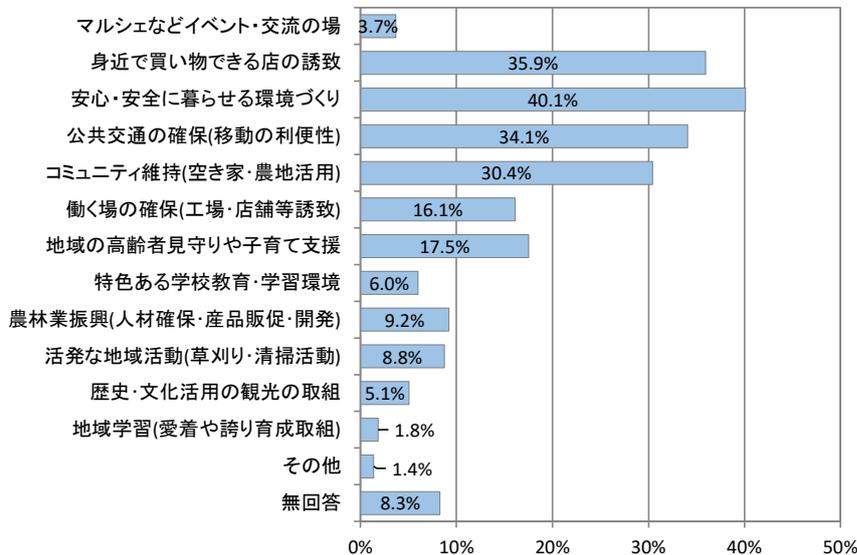
○今後とも地域が住み続けたいまちであるために、重視していくのが望ましいこと

「安心安全に暮らせる環境づくり」40.1%、「身近で買い物できる店の誘致」35.9%、「公共交通の確保(移動の利便性)」34.1%、「コミュニティ維持」30.4%の4つが 30%を超えており、安心安全な生活の確保と利便性とともコミュニティ維持が求められている。

問8 住み続けたいまちのために重視すること(複数回答)

	実数	構成比
マルシェなどイベント・交流の場	8	3.7%
身近で買い物できる店の誘致	78	35.9%
安心・安全に暮らせる環境づくり	87	40.1%
公共交通の確保(移動の利便性)	74	34.1%
コミュニティ維持(空き家・農地活用)	66	30.4%
働く場の確保(工場・店舗等誘致)	35	16.1%
地域の高齢者見守りや子育て支援	38	17.5%
特色ある学校教育・学習環境	13	6.0%
農林業振興(人材確保・産品販促・開発)	20	9.2%
活発な地域活動(草刈り・清掃活動)	19	8.8%
歴史・文化活用の観光の取組	11	5.1%
地域学習(愛着や誇り育成取組)	4	1.8%
その他	3	1.4%
無回答	18	8.3%
計	217	100.0%

問8 住み続けたいまちであるために重視していくこと(複数回答) N=217



### ○地域の魅力や誇り、愛着のために特に大事にしたいもの

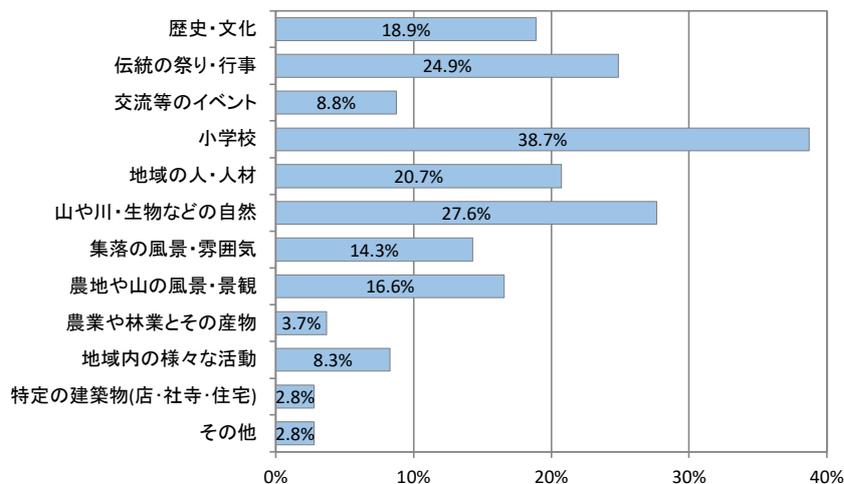
地域の魅力や誇り・愛着のために大事にしたいことでは、「小学校」38.7%がやや突出して多く、次いで「山や川などの自然」27.6%、「祭り・行事」「人材」がともに20%を超えて多くなっている。

問9 地域の魅力や誇りで大事にしたいもの(複数回答)

	実数	構成比
歴史・文化	41	18.9%
伝統の祭り・行事	54	24.9%
交流等のイベント	19	8.8%
小学校	84	38.7%
地域の人・人材	45	20.7%
山や川・生物などの自然	60	27.6%
集落の風景・雰囲気	31	14.3%
農地や山の風景・景観	36	16.6%
農業や林業とその産物	8	3.7%
地域内の様々な活動	18	8.3%
特定の建築物(店・社寺・住宅)	6	2.8%
その他	6	2.8%
無回答	28	12.9%
計	217	100.0%

問9 地域の魅力や誇り、愛着を伝えるもので大事にしたいもの(複数回答)

N=217



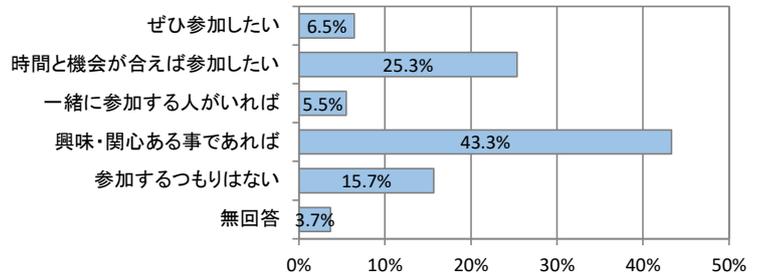
## ○住み続けたいまちにしていけるための活動

住み続けたいまちの活動では、「ぜひ参加したい」は 6.5%にとどまり、「興味・関心あること」「時間と機会」の条件付きの参加意向が 68.7%となった。

問10 住み続けたいまちのための活動への参加意向

	実数	構成比
ぜひ参加したい	14	6.5%
時間と機会が合えば参加したい	55	25.3%
一緒に参加する人がいれば	12	5.5%
興味・関心ある事であれば	94	43.3%
参加するつもりはない	34	15.7%
無回答	8	3.7%
計	217	100.0%

問10 住み続けたい町にしていけるための活動への参加意向 N=217



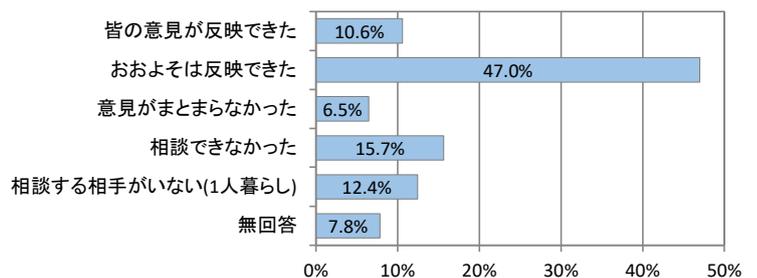
## ○アンケート回答にあたっての家族との相談した感想

アンケート回答で家族と相談した感想では、「おおよそ反映」が 47.0%とほぼ半分の方が相談できたと回答している。「皆の意見が反映でいた」10.6%をあわせると 57.6%と過半の方が反映できたと回答している。一方、相談できなかった方は、あわせて 28.1%であった。

問11 アンケート回答に家族と相談した感想

	実数	構成比
皆の意見が反映できた	23	10.6%
おおよそは反映できた	102	47.0%
意見がまとまらなかった	14	6.5%
相談できなかった	34	15.7%
相談する相手がない(1人暮らし)	27	12.4%
無回答	17	7.8%
計	217	100.0%

問11 アンケート回答にあたり家族と相談した感想 N=217



問 12 地域の 10 年後、20 年後のまちについて望むこと、まちづくりにていての提案、自由意見

農地・山林・神社等しぼられる事項が多く、子孫に引き継がせるのを躊躇する
市街化調整区域からの脱却(線引きの見直し) 地域を愛する、伝統ある行事など大切におこなって、心構えや教育 人と人のつながり、絆を大切に育てる環境づくり
少子高齢化が進みます。車の運転ができなくなったら(自分が高齢になった時)どこにも出かけることができません。もっと町バスの時間を延ばしてほしい、土日運行してほしい
市街化調整区域の解除をしない限り 10 年 20 年たっても栗原は変わらない。工場を誘致しても住宅地がなければ交通事故が増えるだけ。下水道の整備をした住宅地を開発しなければ何も変わらない。このアンケートが本当に栗原のためになればいいが
町外から移住された方々によるコミュニケーションの場を作りその活動による町外からの移住者の誘致を試みてはどうか。若い人たちで垂井町はいいところで引っ越してきてよかったと言っている方がいます。
バスや電車が利用しやすいようにしてもらいたい 夜が暗いので外灯を増やしてもらい若い子たちの住みやすい元気ある場所になることを望みます
区画整理事業を行ったが農地として残す地域、住宅地に変更する地域、工場・店舗を誘致するにしても未来工業以外の計画がなく、区画整理事業が逆にネックとなる。集落西の県道山側が本来の工場・店舗誘致地域と思うがそもそもそのような未来思想の整理事業でなかった。店舗の誘致は難しい。物流センター・工場の誘致と住宅誘致を考える。養老スマートインターを有効に考えるべき、高齢化が進む。巡回バスは重要、ルートの見直し、土日祝日の運行、仮数増、運航時間の拡大が必要。スクールバスの W 使用も。
農振地を解除し、住宅化を図る 宅地を図っても駅、交通の便等不利な点がありいろんな優遇を図ることが重要 1、町営住宅を建て小学生以下の子供のいる入居者には格安の家賃とする 2、土地代に町の補助を出す 3、ハウスメーカーに団地設置を町からも強力に働きかける4、町の施設(ハード的なものではない、ソフト的な)。
垂井駅行く早朝バス 7 時ごろあれば大変通勤が助かります。車いすが乗れるバス昼間予約制でもいいから考えてもらえないか？
1、今後畑が維持できるか？(誰が作業をするのか？) 2、大型規模小売店舗(量販店)ができてから小規模の店の経営が成り立たずやめてしまい年寄りには不便。そこで今後企業が値段を決めどこで買っても同一値段にしてサービスで競争するようにすると僻地でも栄えるようになるし企業もよくなる 3、名古屋(都会)に行くのにも 50 分くらいで行けるので住宅地にすると良い(通勤圏)。
移動が不便。
本アンケートの意図がよくわからないので答えに苦しみます。将来的に栗原はなくなる方向にあるのでどうしたいのか。行政サービスを打ち切ってもよいのか、住み続けるなら地域として何か自助努力すべしなのか。公共交通機関が無い。高齢化・過疎化がますます深刻化する、働き場所がない。休耕田や山地が増加する。そのような中で生活してく方向性を町としても真剣に考えてもらいたい。進んでいく現実では止められないわけなので暮らしている住民目線での改善策を考えてほしい。栗原から出ることのできない理由が人それぞれある中で、とても大切な目線だと思います。
空き家を作らない。
農振法の見直しによって住居、店舗等建築できるように早くなると良い。
小さい子供が安心して遊べる公園 下水道の整備。
検討できる範囲で(住宅・団地)新たな他の人を受け入れる。農業においても特化した農業の模索が必要。今一番の問題は過疎化とこの解消。調整区域の見直しを。
高齢者が安心して暮らせる街にしてほしい。特に金銭的に支えてほしいです。
町行政の活動を地域に役割を押し付けすぎている。

町を良くするために土地改良など計画をたて皆さんのご苦勞もわかりますが着工するのが何年も先のことで結局は子供たちが大きくなった時に不具合が出てきたり自然が破壊されたり、小川がちょろちょろ流れてそれを見て心がほっとする景色が残るような村のままでいてほしいですが。
若い人が住みやすい地区に 地域の役員が多すぎる(若い人が地区を離れる)。
中瀬古は 13 軒しかないうえ、参加しない人もいて大変負担が重いです。自治会の件数を均等に近づけるべき編成を考えてほしい。10 年後では 70 年代が若い世代となります、特に体育推進委員の選出が厳しいです。
とにかく地域活動を減らしてほしい。人が集まらないのに消防団継続する必要があるのでしょうか？
地域の役が多すぎる、毎年当たる人には毎年当たる。もっと減らしてほしい。
栗原の元合原幼稚園の園舎を何か利用できませんか？児童館とか…？冷暖房まであるのにもったいない。
安全な井戸水 以前、立花問題で水道に変えたが、風呂で吐き気がして井戸に戻した。安心できる井戸水が確保できなくなれば他の地区へ行ってもかまわない。
若い世帯の居住。
子育て世代にとっては中学まで駅が遠いことが一番負担がかかる。それが理由で栗原を避けることはあると思う。
私が現役時代にどれだけの地方税をお支払いしていたことでしょうか。その割に周辺を見渡してもこの 35 年間で変わったのは垂井駅南側のみである。中心地から離れた地区は全く変わっていない。今後は「地域の住みやすさ」が人口減少抑制の一番となる。いつまでも「調整区域」にこだわらず他地域からの転入など人口増加を考えていかなければならない。そのためには自然を破壊しない程度の開発が必要となる 若者、高齢者の居場所づくり 小さい子供、高齢者の地区での見守り、医療費を含む支えあえる地域づくり 防災力を高める地域づくり。
以前から意見を上げているが反映されていないので 10 年後も変わるのかわからないが、なぜバスが運行されないのか？このまま年を取って車を乗れなくなったら垂井町には居住地として難しい。若い人が流出している地域で、体推や青推の活動が今後も続くと思うと憂鬱。80 歳を超えて参加させられるとかホント最悪。
町民の減少阻止。
道路の拡幅、歩道の設置。
1 合原小学校の存続、統廃合校反対 2 歴史的跡地の整備をし、観光客の誘致。 3 町内ウォークのため公衆トイレの設置。 4 多彩なイベントの開催、アトラクションの催し。 5 単年度に終わらなくて行事の継続。
間違っていたらごめんなさいね！ 平和工業かな？ 誘致した会社のために従業員の社宅建設の話は出てませんか。従業員の中には遠距離の人も多いのでは、町営で提供しては。合原小学校の児童が減少して何とか少子化を防げないかと。夕方、会社の従業員が帰宅する車両の多いこと。危険防止。
伝統を伝え守ることも大切ですが、地域活動、役員などが多い。保育園の役員、小学校の役員、中学校の役員、そこに地域の役員となり負担が多い。10 年後 20 年後となると高齢化が進みさらに負担が大きくなることで活動に参加しなくなるのでは？と思う。実際に参加者が少なく活動の意味があるのか、と思うことがある(コロナで行事出来ないせいもありますが)。
このまま静かに生活できれば GOOD！
元気な子供の声が聞こえる地域に 移動が不便 栗原の西の方に停留所を。
栗原地区は風が強いから風力発電も視野に入れてはどうかと思います。
広い目、将来を見据えた目でインフラ(道路の拡幅等)整備を進めるべき 町内のエゴにこだわらないことが大切と思う。(東濃方面の道路は無人の山などを通して。その後通ってみるといろいろな企業や住宅が道路沿いに立っている。)

地域の活性化、人との交流の場が多くするためにはまず若い人を栗原に来てくれるように考えないといけない。そのためには企業誘致も必要。また、大学等の誘致も今後考えていく必要があると思います。
今回の土地改良により、保全すべき農地、働く場所としての工場誘致ができた。今後は集落周辺の土地利用により住宅等建てやすく、人が住みやすい地域づくりが必要である。
人が減っているのに行事や地域活動が多いので本当に大変になっている。こういったことが多いので栗原に住みたい人が入るわけがない。
人口減・若者の流出等の現実を踏まえ取り残されてゆく水田・畑・山林及び空き家の管理・保守が共通の悩みと考えます。行政をして一括して上記のような不動産の借り上げ・買い上げ 若しくは寄付を可能とする条例の考慮はいかがでしょうか 煩わしい行事が多すぎます。ご検討お願いします。 1 美化デー(町内ではやっていない地区もあります) 2山・水田の畔道、改修作業 この 2 つは行政又は業者に依頼する等 3赤・緑の羽根募金→自治会からの強制集金は問題あり 4三昧当番→現状に合った見直しを 5秋葉祭り→今以上に簡素化に 6報恩講→各家庭でも行っているため廃止に これらのことも若者が寄り付かない原因の一つと考えます。
まずこの地を他地域の人に見てもらうための広報やそれに関連したイベントが効果的かと思われます。そこから将来が見えてくるのでは。
子どもたちの元気に遊ぶ大きな声のあるのが地域の活性化だと思います。今の時代は無理ですね。
転入の推進 スーパーの充実 子育て支援の拡大。
子どもを増やすことがとにかく大事だと思う。給食等、子供に必要なものはなんでも無料にする。そのための税金、町債なら喜んで参加する。
この事業に伴って既存住宅地及び農地の土地評価額が現状のままで絶対に高くなるようにお願いします。高くなるようであれば全てにおいて反対いたします。
コンビニ等を誘致してほしい。
道を車がすれかすれる程の広さに広げていただきたい。子どもの数がどんどん少なくなり地域に住みたいと思うような若者を受け入れるようにした方がいいと思うが。
すこやか号の朝早い時間帯(高校生)が垂井駅まで使用できるととてもありがたいです。
昨今児童数が減少しているが地域の核となる小学校を存続させてほしい。
1 栗原地区は農業地域として農業以外の人は住まないようにしていく(今までの方針の加速)垂井地区、表佐地区に移住するよう推進する←新規 2合原小は表佐小か宮代小に移し、合併。
この辺りは今のところひどい災害に遭わず住みやすい地域だと思います。もっと若い人たちが住みやすい地域づくりが必要かと思えます。
道路の整備、幅を広げる。
少子高齢化は進んでいくため、外部からの受け入れによる人口増は必須の課題である。小学校の存続をはじめ、耕地整理を行ったにも拘らず、担い手不足等の懸念は多数あるため、まずは地域に住みたいと思う環境づくりをお願いしたい。
下水道の整備 車を使わなくても日々の生活に不便がなくなるとよい 高齢者が住みやすくなると良い。
子どもの人数が少ないのでなかなか難しい。
10 年→ 1西の県道が垂井町の基幹道路になり、山側、東側とも栄える地域が成長発展する。2開発が自由にでき町の成長につながる(働く場所、住居場、楽しい場づくり) 20 年→1 名古屋市のベッタウン、セカンドハウスタウンになり東海地域で一番住みよい街になる 2小、中学校ができるくらい、マンション、セカンドマンションができる 3県道山側にモビリティタウンができる。そして栗原全体がモビリティタウンになる。
自治体や瀬古の中のいろいろな組織の役員が多いため順番にやらなければならず高齢とか、女性等体力のないものにはとてもつらく住みにくくなっていると思う。
小学校の人数が少なすぎで栗原から若い人(家族)が出ていく 10 年後 20 年後どうなっているのか

<p>考えると怖い。</p>
<p>年々過疎化になるため、まちづくり対策を早急に検討する必要がある。</p>
<p>高齢者に対しての目配り、支援がもっとあれば良いと思います。町内バスの停留所がもっと近くにあれば良いかなと思います。</p>
<p>垂井町は田舎で静かで四季が感じられて住みやすいと思っていますが、子供たちは今から 10 数年前は近くに働くところが見つからず県外に行きました。今は工場も増えました。子供にも高齢者にもみんなにやさしいまちづくりを目指してほしい。公園とかカフェ付きの本屋さんとか、のんびりできて遊ぶこともできるホームセンターもあり、他の市町村の取組みも参考に見てください。垂井には「JR」本線があるんです。これは強いと私は感じています。高校にも仕事にも使えるので。</p>
<p>現状の栗原から 10 年後 20 年後を想像することは非常にむづかしいことだ。アンケートの内容からして今の現状を変えるにはどうすべきかの設問が全くない。問 7 等全く必要なく転居されたい人は法的な条件がそろえば万人を受け入れるべきだ 栗原の 20 年後 30 年後を想像するには急ぎ居住者を増やし未来ある子供たちを増やすことに尽きる。このままでは小学校が閉校に追いやられる。空き家問題も手つかず、空き家があっても住宅地として家が建てられないとか農地改革で土地が余っても住宅地として造成されなくて、工場用地として売却される等居住者を増やす努力をされていない。あの土地を住宅地に造成したならばどれだけの住宅が出来たろうかと考えさせられる。今の状況で将来を想像するなら小学校を表佐地区宮代地区と合併して一つの学区にする方法が望ましい、又垂井町の校区を見直し現状の 7 区を 5 区に再編して街づくりを進めた方が栗原の将来にとってもいいのではと考える。</p>
<p>今後年を取り免許証を返した時、買い物や病院への足が心配です。身近に店もないし困ります。</p>
<p>住宅地の近くに畑や田をお持ちの人は切り捨てた雑草雑木などを捨て置かないでください、蛇や虫の住処になります。</p>



# 垂井町 市街化調整区域におけるまちづくり アンケート調査へのご協力をお願い

日頃より、町行政に格別のご理解、ご協力いただきありがとうございます。

人口減少社会が到来し、とくに市街化調整区域からなる栗原地域では人口減少と高齢化が進み、地域コミュニティの維持が課題となっています。

町といたしましては、これらの地域の課題解決に向けて、地域の皆様と一緒に持続可能なまちづくりの取り組みを進めていきたいと考えています。

今回の栗原地域の全世帯を対象にしたアンケート調査は、地域の実情を把握するとともに、地域の皆様の考え方をお聞きし、今後のまちづくりに生かしていくための基礎資料とするため行うものです。

今後、このアンケート調査結果をもとにして、地域の皆様とのワークショップや勉強会などを実施し、課題の共有、意識の醸成を図っていききたいと考えています。

本アンケート調査ならびに今後の取り組みにつきまして、地域の将来のため、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年7月 垂井町長 早野 博文

## 《回答にあたってのご注意》

- ① 回答は、世帯主の方が基本的にご記入ください。なお、設問によっては、家族の方のご意見を把握する設問も含まれております。その場合は、みなさんで相談していただきながら、回答いただけると幸いです。
- ② 記入用具は、鉛筆・ボールペンなどをご使用ください。
- ③ 質問ごとに、あてはまる番号を○で囲んでください。
- ④ 回答後は、送付時の封筒にアンケート調査票を入れ両面テープで封をし、8月17日（水）までに各自治会長さんにお渡しください。
- ⑤ このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

〈問い合わせ先〉

垂井町 都市計画課 都市計画政策係 担当者：小山 岩津

〒503-2193 岐阜県不破郡垂井町宮代 2957-11

(電話) 0584-22-7521 (FAX) 0584-22-5180

# 垂井町 市街化調整区域におけるまちづくり アンケート調査票（栗原地域）

## あなたご自身について

問1 ご自身のことについてお尋ねします。【それぞれ1つに○、または数字を記入】

①あなたの性別と年齢を、それぞれお答えください。

性別	1. 男性	2. 女性	3. その他	
年代	1. 20歳未満	2. 20～29歳	3. 30～39歳	4. 40～49歳
	5. 50～59歳	6. 60～69歳	7. 70～79歳	8. 80歳以上

②あなたのお住まいの自治会をお教えください。（任意項目です。）

1. 境野	2. 西瀬古	3. 北瀬古	4. 中瀬古	5. 東瀬古	
6. 南瀬古	7. 田中	8. 勝杭	9. 勝田	10. 幸瀬古	11. 寿瀬古

③あなたの職業についてお答えください。

1. 会社員・公務員・団体職員	2. 農林業	3. 自営業（農林業以外）
4. パート・アルバイト	5. 家事従業者（専業主婦（夫）など）	
6. 学生	7. 無職	
8. その他（ ）		

④あなたの世帯構成とその人数についてお答えください。

構成	1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 2世代が同居（親と子）
	4. 3世代が同居（親と子と孫）		5. その他（ ）
人員	上記3～5と回答の方、現在同居する人数（ ）人		

⑤あなたのお住まいについてお教えください。

1. 持ち家	2. 賃貸住宅	3. その他（ ）
--------	---------	-----------

## この地域における定住意向について

問2-1 今後のお住まいの意向についてどうお考えですか。【1つに○】

- |           |             |             |
|-----------|-------------|-------------|
| 1. 住み続けたい | 2. 町内で転居したい | 3. 町外に転出したい |
| 4. わからない  |             |             |

問2-2 上記で「1～3」を回答した方はその理由をお答えください。【いくつでも○】

「1. 住み続けたい」を選んだ方

- |            |                |             |
|------------|----------------|-------------|
| 1. 愛着があるから | 2. 通勤・通学しやすいから | 3. 自然が豊かだから |
| 4. 親と同居のため | 5. 生まれたところだから  | 6. 家を継ぐため   |
| 7. 特に理由はない | 8. その他 ( )     |             |

「2. 町内で転居したい」「3. 町外に転出したい」を選んだ方

- |            |                      |              |
|------------|----------------------|--------------|
| 1. 愛着がないから | 2. 通勤・通学が不便だから       | 3. 買い物に不便だから |
| 4. 独立したいから | 5. 地域でのつきあいがわずらわしいから |              |
| 6. 特に理由はない | 7. その他 ( )           |              |

問3 あなたの家族の定住意向について教えてください。【該当する項目に○】

①同居の家族がいる場合

- |             |              |          |
|-------------|--------------|----------|
| 1. 地域内に残りたい | 2. 地域外に転出したい | 3. わからない |
|-------------|--------------|----------|

②非同居の家族がいる場合（例：大学で下宿、県外の企業に就職など）

- |             |               |          |
|-------------|---------------|----------|
| 1. 地域内に戻りたい | 2. 地域内に戻りたくない | 3. わからない |
|-------------|---------------|----------|

## 現在のお住まいの状況などについて

問4 あなたが生活する上での問題点はどんなことですか。【3つまで○】

- |                     |                       |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 人が減りコミュニティの維持が不安 | 2. 人が減り地域に活気が感じられない   |
| 3. 買い物や飲食の店が少ない     | 4. 空き家の管理ができていない      |
| 5. 災害が増え防災面で不安がある   | 6. 移動が不便である（バスの便数少ない） |
| 7. 新しい家が建てられない      | 8. 近くに働く場が少ない         |
| 9. 通勤・通学が不便である（遠い）  | 10. 小学校の児童数が減っている     |
| 11. 子育てしづらい環境である    | 12. 高齢者の単独世帯が増加している   |
| 13. 担い手・後継者不足       | 14. 地域活動への参加が減ってきている  |
| 15. 地域活動がわずらわしい     | 16. 地域の歴史・文化に関心が薄い    |
| 17. 地域への愛着や誇りが薄い    | 18. 特に問題は感じない         |
| 19. その他 ( )         |                       |



問9 今後、あなたの地域の魅力や誇り、愛着を育み伝えるものとして特に大事にしたいものは何ですか。 【3つまで○】

- |               |                     |                |
|---------------|---------------------|----------------|
| 1. 歴史・文化      | 2. 伝統の祭り・行事         | 3. 交流等のイベント    |
| 4. 小学校        | 5. 地域の人・人材          | 6. 山や川・生物などの自然 |
| 7. 集落の風景・雰囲気  | 8. 農地や山の風景・景観       | 9. 農業や林業とその産物  |
| 10. 地域内の様々な活動 | 11. 特定の建物等（店・社寺・住宅） |                |
| 12. その他（      |                     | ）              |

問10 今後、あなたの地域を住み続けたいまちにしていくための活動について、参加してみたいと思いますか。 【1つに○】

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. ぜひ参加したい           | 2. 時間と機会があれば参加したい    |
| 3. 一緒に参加する人がいれば参加したい | 4. 興味・関心ある事であれば参加したい |
| 5. 参加するつもりはない        |                      |

問11 このアンケートを回答されるにあたり、ご家族の方と相談してみての感想をお聞かせください。 【1つに○】

- |                       |               |
|-----------------------|---------------|
| 1. 皆の意見が反映できた         | 2. おおよそは反映できた |
| 3. 意見が上手くまとまらなかった     | 4. 相談できなかった   |
| 5. 相談する相手がいない（一人暮らし等） |               |

#### まちづくりについてのご意見など

問12 その他、地域の10年後、20年後の将来のまちについて望むことなど、まちづくりについてのご意見・ご提案などがあれば、ご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。  
送付時の封筒に入れて、各自治会長にお渡しください。